

# 2025年度松本ゼミ卒論等公開発表会

法政大学  
国際文化学部

12:30-12:35 発表会の説明（発表15分、質疑応答5分）

12:35-12:55 秋葉咲希

社会的不信を超える宗教実践—立正佼成会および—食平和基金にみる仏教系新宗教の国際協力—

13:00-13:20 黒川愛恵

受け継がれる加害の記憶—アジアと向き合い続ける内海愛子氏へのライフストーリー・インタビューから—

13:25-13:45 坂入舞弥

170年を生き抜く老舗遊園地—花やしきスタッフへのインタビュー調査から—

13:50-14:10 須田優奈

商店街の衰退と持続—オリオン通り商店街を事例に—

14:15-14:35 富山理名

戦後日本の国際社会復帰—拒否権なきユネスコ加盟が持つ意味—

14:40-15:00 山縣一紗

JICA協力隊の音楽隊員が要請され続ける理由—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いた分析をもとに—

<15:00-15:10 休憩>

15:10-15:30 加藤咲貴

在日外国人、支援される側から支援する側へ—アフリカヘリテイジコミティーにおける参与観察を手掛かりに—

15:35-15:55 五十嵐凜々子

台湾の国家公園制度と原住民族の権利回復への道—原住民族基本法（2005）以後の立法院議事録分析—

16:00-16:20 高橋萌果

「国際協力」という言葉の戦後史—広義から狭義、そして広義の意味へ—

16:25-16:45 山口愛果

エシカルファッションが抱える課題の乗り越え方—ある2つの日本企業の実例から—

16:50-17:10 長総英里香（国際文化研究科修士課程）

政府間関係の変動が学生交流にもたらす政治的制約と意味—日中学生会議と天安門事件を事例として—

- 主催：法政大学国際文化学部  
松本ゼミ（国際協力学）
- 日時：2026年3月7日(土)  
12:30-17:30
- 場所：法政大学市ヶ谷キャンパス  
BT0300
- 途中入退室、質疑も可能です。
- 発表後、審査・表彰。

国際協力や松本ゼミ、上記の卒論タイトルに関心があるなど、学部や学年を問わず、どなたでも自由にご参加ください！